

指定管理施設事業評価票(令和3年度分)

1. 施設所管課 **教育委員会事務局 生涯学習課**

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市立図書館(今市・日光・藤原)		
	所在地	日光市中央町29番地1 日光市御幸町4番地1 日光市鬼怒川温泉大原1404番地1		
指定管理者	名称	株式会社図書館流通センター・株式会社近代ビル管理社共同事業体		
	代表者名	代表取締役 細川 博史		
	住所	東京都文京区大塚三丁目1番1号		
指定期間	平成29年4月1日	～	令和4年3月31日	5 年間
選定方法	公募	評価実施年	5 年間のうち	5 年目
施設設置目的	図書、記録その他必要な資料を収集し、整理し、保存して、市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクレーション等に資するとともに、郷土文化の発展に寄与することを目的として、日光市立図書館を設置する。			
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> ・窓口業務(資料の貸出・返却・予約・検索・調査相談・相互貸借) ・資料発注業務及び資料の登録、整理、除籍等(資料の選定、発注、データ処理、配架、除籍処理、リサイクル) ・自主事業の開催(展示、各講座等の企画及び実施.事後報告) ・市内小学校への移動図書館の定期的実施 			

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		目標	実績								
a 資料貸出数	点	364,000	356,338	368,700	377,418	369,000	375,991	369,200	289,686	335,640	293,027
b 市民一人あたり貸出数	点	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
c 事業開催件数	回	84	163	86	145	87	138	89	56	90	80
d 管理運営全般の満足度	%	80	89	82	86	80	92	85	93	85	88
e 接遇の満足度	%	80	99	82	95	80	96	85	98	85	96

4. 指定管理業務にかかる収支状況

(単位:円)

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入計 A	156,389,000	157,019,000	159,918,000	159,933,820	159,941,640
指定管理料	156,389,000	157,019,000	159,918,000	159,918,000	159,918,000
利用料収入 C					
自主事業収入					
その他				15,820	23,640
支出計 B	156,236,769	156,773,000	158,990,392	158,857,421	159,098,941
指定事業費	154,409,660	153,873,000	154,270,071	154,754,833	154,659,469
内人件費 D	86,131,240	83,229,000	86,268,873	87,288,486	86,193,449
内外部委託費 E	18,834,735	4,739,000	4,895,000	6,685,474	6,638,531
自主事業費	1,827,109	2,900,000	4,720,321	4,102,588	4,439,472
事業収支 A-B	152,231	246,000	927,608	1,076,399	842,699
人件費率 D/B	55.13%	53.09%	54.26%	54.95%	54.18%
外部委託比率 E/B	12.06%	3.02%	3.08%	4.21%	4.17%

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明 今市図書館で防災アンテナ電気料金の収入があった。

サービス改善の状況

消毒台のとなりに荷物置き場を設置した。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者自己評価	施設所管課評価
① サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。 必要な資格、経験を有する人員が確保されている。 事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B A A	B B A
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。 外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B B	B B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	B
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。 個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	A B	A B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。 協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B B	B B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。 点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B B	B B
	連絡調整	協定書に従い、各報告書等を、市に提出している。 市、関係団体等との連絡調整を適切に行っている。	B B	B B
	緊急対応	事故、災害等の緊急時の連絡体制が整備されている。 緊急時のマニュアルが整備され、年1回訓練を行っている。 避難経路が適切に確保されている。	B B B	B B B
	総括	「業務の実施体制」に関する評価【17項目】		B
② サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。 事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	B B	B B
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。 利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。 言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B B B	B B B
	事業運営	事業計画に即し、受託事業を実施している。 施設の目的に沿った自主事業を実施している。 事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B B B	B B B
	維持管理	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。 仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。 備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。 協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B B B B	B B B B
	環境配慮	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。 要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B B	B B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	B	B
	利用状況	利用実績は、目標水準である。	B	B
総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】		B	B
③ 安定性	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	B	B
総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】		B	B
所見 (成果・課題等)	(指定管理者自己評価) 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、約1か月の休館はあったが、親子読書室の整備やおはなし会や工作会、映画会や歴史講座など、事業の充実を図った。企画展示でも「高校生おすすめPOP展」や「涼しい絵展」、「本の福袋」など魅力あふれる展示を展開し、来館者に好評だった。			
	(所管課評価) 新型コロナウイルスの感染拡大による緊急事態宣言等による休館もあったが、昨年度に引き続き、適切に対応していただいた。 利用者数・貸出数ともに大きな増減はなかったが、電子図書館においては登録者数・貸出数ともに大きく増加しており、コロナ禍において一定のニーズを窺える。各種事業においても、参加者の少ないもの、参加者から好評だったもの等あることから、各館で地域の特色を活かして魅力ある事業企画の作成に取り組んでほしい。また、新型コロナウイルスの制限緩和により、利用者数が以前の水準に戻ることを見据え、市民が利用しやすい環境づくりを心掛けていただきたい。			
前年度総合評価	B(良好)		総合評価	B(良好)

※評価区分

評価基準	A(優良) = 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。 B(良好) = 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。 C(要改善) = 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。	
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。	
総括評価	A(優良) = 評価項目のうち、A判定が80%以上 B(良好) = A、C以外 C(要改善) = 評価項目のうち、C判定が20%以上
総合評価	A(優良) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。 B(良好) = A、C以外 C(要改善) = 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。